

広報 NO.111

県立三好病院



今号の内容

地域医療センターだより

～患者さんに寄り添った医療をめざして～

シリーズ認定看護師

～救急看護認定看護師～

櫛生小学校 BLS 講習会

新任医師紹介

(写真)三好病院病棟から望む吉野川と西山

熊本地震で被災された地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

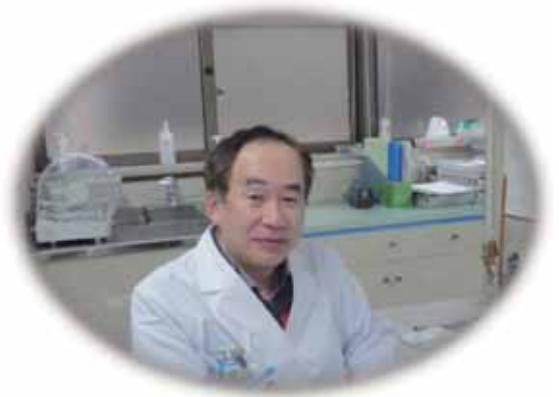
地震災害は、南海トラフ巨大地震が予想されている当県においても重大な関心事であり、被災された地域の皆様には、一刻も早い日常生活の回復がなされるよう願わずにはられません。

今回の震災に対して当院からも医療支援を行いました。その際、被災地で経験したことを当院や地域の防災対策のさらなる強化につなげるため、現在、検証・検討を行っております。また、今後も継続して地域の皆様、関係機関と協力してまいりたいと考えております。

地域医療センターだより

患者さんに寄り添った医療

をめざして



副院長 依田 啓司

地域の医療施設の先生方をはじめ、介護・福祉のスタッフの皆様方には日ごろから大変お世話になっております。田村克也副院長の退職に伴い、4月より副院長を勤めさせていただくことになりましたので、ご挨拶申し上げます。また、地域医療センター長も兼務させていただきます。

三好病院はこれまでどおり、地域に「信頼」される病院を目指しております。「地域医療支援病院」として、今後果たすべく役割をまとめてみました。

①地域に開かれた病院の窓口となること

地域の先生方や医療・介護・福祉に関連した方々や、患者さんのご要望に迅速対応が行える窓口。また、三好病院に対するご意見（問題点、改善点など）がありましたら、気兼ねなく地域医療センターへお伝えください。

②地域包括ケアシステムの構築と推進

人口が減少する一方でますます高齢化がすすみ、要介護状態の割合も増加するため、県西部においても、医療・介護システムが変化していくことが予想されます。地域住民が安心して生活を送ることができるよう、各関係機関と協力して少しでもお役に立てるよう三好病院としても協力いたします。

③地域住民の方への医学教育

積極的に予防医学への取り組みが行えるよう、出前講座や講演活動などが必要と考えています。取り組みについては現在院内で検討中です。

④かかりつけ医制度の推進

当院は急性期医療を担っており、状態の安定した患者さんはかかりつけ医の先生方にご高察いただく方針を進めています。

これまで以上に地域の先生方との連携を深め、県西部の中核病院としての役割を果たすため、邁進したいと考えております。医師会をはじめ、地域の先生方のご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

スタッフ紹介

前列左から

住友初代（看護師）

田野玲子（看護師）

長谷川逸子（医療相談員）



後列左から

大西広行（医療ソーシャルワーカー/MSW）

中川宗史（精神保健福祉士/PSW）

米倉和宏（医療ソーシャルワーカー/MSW）

岡田香織（事務員）



救急看護認定看護師 松浦 暁子

私は看護師免許取得後、県外の高度救命救急センターに就職し、2014年に救急看護認定看護師の資格を取得しました。その後、2015年9月から当院の救急病棟で勤務しています。救急看護の分野は、多種多様な急性疾患、慢性疾患の急性増悪、事故、災害などで救急処置が必要な患者さんとそのご家族を対象に、トリアージの実施や緊急処置の介助、生活援助、精神的サポートなどを行います。さらに認定看護師として、これらの看護技術を高い水準で『実践』し、看護実践を通して看護職に『指導』を行い、他の看護職から『相談』を受け介入することで、看護現場における看護の質の向上に努める役割があります。



当院には、救急看護認定看護師が2人在籍しており、1人目は救急外来で勤務しています。私は2人目として救急病棟に所属し、主に緊急入院の患者さんとそのご家族を対象に看護を行っています。救急病棟は、救急外来でトリアージ（優先順位の判断）と、緊急処置を施された患者さんが入院される病棟です。病状が重篤で不安定な状態の患者さんやご家族が、1日も早く回復し、日常生活に戻られることを目指して看護を行っています。

下の絵図は、『救命の連鎖』と呼ばれます。傷病者の命を救い、社会復帰に導く為に必要な一連の行いを表しています。私は救急看護認定看護師として、急変を予防する方法、命を救う方法を、病院関係者だけでなく地域の方々にも伝えていきたいと思えます。悲しい思いをする方が一人でも少なくなるよう、実践力・指導力の向上に努めます。

救急看護に関するお困りのことがありましたら、気軽にご相談ください。



櫛生小学校からご依頼をいただき、5月14日（土）に一次救命処置出張講習会を開催しました。

児童11名、教員4名、保護者約20名、ちびっ子4名に参加していただきました。



三好病院では地域の学校・企業などを対象に一次救命処置出張講習を行っています。

平成28年熊本地震への対応について

4月14日午後9時26分 M6.5（前震）、同16日午前1時25分 M7.3（本震）ともに最大震度7を記録した「平成28年熊本地震」に対し、当院では次の医療支援を行いました。

- 4月15日～20日 DPAT（災害派遣精神医療チーム）先遣隊に業務調整員1名（DMAT 隊員）を派遣
 - 4月16日～19日 DMAT（災害派遣医療チーム）医師1名、看護師2名、業務調整員1名を阿蘇市に派遣
 - 4月29日～5月3日 徳島県医療救護班第4班に薬剤師1名を派遣
 - 5月8日～12日 同 第7班に医師1名、看護師1名、理学療法士1名、業務調整員1名を派遣
- 被災地の医療ニーズの減少に伴い、徳島県を含む18県の医療救護活動は5月10日で終了しました。



新任医師紹介



呼吸器内科 近藤 健介 医師
まだまだ未熟ではございますが、日々精進して参ります。よろしくお願ひ致します。



整形外科 近藤 研司 医師
地域の皆様のお役に立てるよう努力します。



整形外科 川口 真司 医師
まだまだ未熟ではありますが、精進して参りますのでよろしくお願ひします。



呼吸器内科 坪井 未希 医師
少しでもお役にたてるように頑張ります。



循環器内科 飯間 努 医師
県西部の医療に少しでも貢献できたらと思っています。

がんサロン・談話会

当院の専門職が、がんについて様々なテーマでお話をし質問に答えます。患者さん同士でお互いの体験を語り、がんと付き合うコツを学び合います。お問合せ：総合案内・がん相談支援センター

開催日：毎月第3木曜日 午後1時半～3時
会場：入院棟8階 展望室又は外来棟2階多目的ホール
対象：がん患者さん・ご家族（他院で治療中の方も歓迎）

糖尿病専門外来

第2・第4月曜日に県立中央病院の糖尿病専門医が診察を行っています。受診希望の方は、かかりつけ医の紹介状が必要です。かかりつけ医から当院地域連携室を通してのFAX 予約も可能です。

看護学生のための
インターンシップ
2016
随時募集しています

～ 県立病院基本理念～
県民に支えられた病院として
県民医療の最後の砦となる

発行 徳島県立三好病院 広報委員会
〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ 815-2
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910
ホームページ <http://www.miyoshi-hosp.jp/>

臨時看護師募集

随時募集しています。
詳しくはホームページを御覧ください。

御意見・御要望がございましたら、ホームページ、または院内御意見箱までお願いします。広報バックナンバーは、ホームページにて御覧になれます。